

地域で活躍してみませんか？

男女共同参画社会づくり地域リーダー研修

参加者募集

男女がお互いに喜びも責任も分かち合いつつ、個性と能力を発揮できる社会づくりに向け、あなたも地域で活躍してみませんか？

研修内容

事前研修 9月8日(木) 男女共同参画社会づくりに関する基礎知識の学習  
先進地研修 10月13日(木) 16日(日) 3泊4日 (東京都)

募集期間 6月30日(木) 必着  
発表 選考して、8月中旬に熊本県から通知します。

費用

地域リーダー研修に要する費用の1/3程度を熊本県が残り、菊池市が負担する予定です。

募集対象

市内在住の20歳以上65歳未満の男女で、全研修に意欲をもって参加できる人。

募集人員

1人程度

応募方法

住所・氏名・年齢を記入した作文を添えて「市男女共同参画推進室」に提出してください。

問い合わせ先

男女共同参画推進室  
E-mail danjo@city.kikuchi.kumamoto.jp

人権同和教育シリーズ①  
私が学んだもの  
菊池農業高校 石原早弥香

この国で戦争が終わり、どれくらいの月日が流れたのだろう。私は、セミの音がする夏になると、いつも戦争の話を思い出します。小学校の修学旅行で訪れた長崎原爆資料館で、沢山の被爆された方の写真や、頭の骨のついたヘルメット、熱で折れ曲がったビン、まる焦げになった弁当箱などを見て、戦争の恐ろしさ、悲惨さを知った。そのときのショックはとてつもないものであった。

私たちの学校に、藤田先生というおじいちゃん先生がいる。藤田先生も原爆被害者の一人である。先生は、私たちに英語を教えてください。いつも明るく、元気で、私たちを笑わせてくれる先生が、原爆の被害者だということを知り、それまで私は知らなかった。

先日、人権教育の時間に、先生が自分のことを全校生徒の前で話してくれた。その時初めて、先生の被爆体験を聞いた。

当時、先生は3才だったそうだ。広島に原爆が落とされたとき、家の柱が倒れてきて、先生はその下敷きになった。近所のおばちゃんたちのおかげで、なんとか命をとりとめたが、額に傷を負った。今でもその傷は先生の額に3本の線

となつて残っている。さつきまであった家々は一瞬のうちに崩れ、辺り一面、がれきの山だったそうだ。改めて戦争の恐ろしさが伝わってきた。

私がいつも思うのは、どうして人間どうし憎しみ合わなければならないのか、そして、なぜ、何の罪もない人々が死んでいかなければならないのかということ。死んだおばあちゃんやママが言っていた。「幽霊より、生きている人間が一番怖い」と。本当に人間は怖い。先生は、戦争が終わった後も、被爆者というだけで、心ない言葉を投げつけられたり、結婚を反対されたり、いろんな差別にあつたのである。

中学生の時に、枯れ葉剤の勉強をしたことがある。ベトナム戦争で、アメリカ軍は、敵が隠れるところをなくすため、森林に枯れ葉剤をまいた。その結果、最も被害を受けたのは何の罪もない子どもたちであった。沢山の子どもたち

の写真を見て、衝撃を受けた。生まれつき目が片方ない子ども、頭が異常に大きい子ども。戦争で一番苦しむのは、いつも何の責任もない、弱い立場の人々であること。を思い知らされた。戦争は、たった3才だった藤田先生にも、心と体に深い傷跡を残した。先生は60歳を過ぎた今でも、花火の音を聞くだけで心臓がどきどきして息苦しくなるそうだ。

戦争はまだ終わったわけではない。今でも、この地球上で戦争があつている国がある。その度に罪もない人々が死んでいく。苦しんでいる人々は世界中にいる。それでは、私たちに何ができるのだろうか。このような自分の気持ちで、まわりにいる人たちに伝えていくことが大切だと思う。そのことがいろんな差別をなくすことにもつながっていくと思う。途中であきらめるのではなく、最後まで強く思うこと。それは、自分自身も強くなれることだと思う。私は、戦争のことについてももっと勉強したいと思う。そしてどのような差別を被爆された方は受けてこられたのか、もっと知る必要がある。そして、それを次の世代にも伝えていきたいと思う。

戦争の他にも、私たちの社会には、障害者差別や男女差別、そして部落差別などの問題がある。私は、小学校、中学校、高校といろんな人権学習をしてきた。部落差別をなくすために勉強している友達もいる。もし私が、今まで人権学習をしていなかったら、自分自身が、気づかないまま差別をしている立場になっていたかもしれない。そう思うと、いろんな人権問題について、もっと多くの人々に知ってもらいたいと思う。そのことが、私たちの社会から差別をなくす第一歩になるのではないだろうか。

菊池広域連合

汚泥再生処理センター(仮称)の名称を募集します

菊池広域連合(菊池市、大津町、菊陽町、合志町、西合志町が構成市町)では、菊池市木柑子地内に建設中の汚泥再生処理センター(仮称)の名称を募集します。最優秀賞に選ばれた名称は、今回の施設の正式な名称として使用します。

応募資格

児童・生徒・学生および一般住民(どなたでも可)

応募記載内容

- ①施設の名称
- ②名称の由来
- ③あなたの住所・氏名・年齢(学生の人は、学校名と学

年・電話番号

※1つの応募につき名称は1点のみです。

また、1人何点でも応募できますが、同一名称は1人1点のみで、複数応募はできません。

応募方法

郵送の場合

〒861-1331 菊池市隈府114番地1 菊池広域連合「汚泥再生処理センター施設名称募集」係 FAXの場合 Fax (23) 13112

※件名を「菊池広域連合「汚泥再生処理センター施設名称募集」への応募」としてください。

募集期間 6月16日(木)～7月15日(金) 必着

賞・表彰

最優秀賞1点に賞状および副賞 ※副賞として記念品または商品券50,000円相当

採用作品の表彰は、汚泥再生処理センター(仮称)竣工記念式典時に行ないます。

発表

本人に通知するとともに、構成市町広報などで発表します。

汚泥再生処理センターとは

平成18年1月から本格稼働予定のこの「汚泥再生処理センター」は、連合構成市町内の家庭などから排出されるし尿や、浄化槽汚泥などを処理する施設です。

特徴は、リサイクル循環型社会を目指した、環境にやさしい設備を整えています。し尿処理で生じる汚泥を1次発酵から2次発酵までさせて堆肥化する設備を備え、コンポスト(肥料)を製造します。

この施設の建設には、多くの関係者や地域の皆さんのご理解と協力をいただきました。地域に親しまれる施設になるよう、皆さんの応募をお待ちしています。

問い合わせ先

菊池広域連合事務局管理課 ※土・日・祝日を除く ☎(23)13111

CO2削減

電気を消して地球温暖化防止に貢献

豊かな環境は、活力溢れる地域づくりや安心して生活できる暮らしの源泉です。

その大切な環境を守り育て、社会の仕組み自体を持続可能なものへと変えていくためには、皆さん一人ひとりがその重要性を認識することが重要です。

ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、地球温暖化や酸性雨などの地球規模の問題から、廃棄物やリサイクル対策、エネルギーの浪費など身近な問題にいたるまで、色々な環境保全活動を展開していくことが必要とされています。

熊本県では、毎年6月を「熊本県環境月間」として、より豊かな環境づくりのための取り組みを行います。皆さんも地球温暖化防止のため、身近にできる各家庭での早めのライトダウンなどにご協力をお願いします。

地球温暖化防止のためのCO2削減/ライトダウンキャンペーン

6月18日(土)、6月19日(日)、6月21日(火)

ブラックイルミネーション2005

6月19日(日)

午後8時～午後10時までの2時間、ライトアップ施設や各家庭の電気を一斉に消しましょう。

100万人のキャンドルナイト

6月21日(火)

夏至の日の21日(火)、午後8時～午後10時までの2時間は、電気を消してキャンドルの明かりだけでおくるスローな夜を楽しみましょう。

ただし、火の取り扱いには十分注意してください。

問い合わせ先 環境課



6月21日(火)の夜は、電気を消してスローな夜を楽しんでみませんか



平成18年1月から本格稼働予定の汚泥再生処理センター(仮称)に、名前を付けてください